

(様式5)

事業実績書

1 校内概要及び実施対象学年

(1) 児童数及び学級数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	備考
男	8	5	2	4	7	4	30	
女	1	4	3	5	6	11	30	
計	9	9	5	9	13	15	60	2・3年複式

(2) 事業実施対象学年

1～6学年 60名（男子30名 女子30名）

2 事業実施機関 平成24年4月1日～平成25年2月28日

3 事業内容

- (1) ムギワラギクの栽培とリース作成
- (2) そば・大豆の栽培学習
- (3) 小本川の環境学習
- (4) 早坂高原や門、岩泉の自然観察学習
- (5) 花壇整備や環境美化等による環境保全学習

4 事業の成果と問題点

(1) 事業の成果

- ア 身近な自然や産業、歴史と関連づけながら、事前事後指導の充実を図ったことにより、体験活動の一層の充実を図ることができた。
- イ 平成22年度まで導入していた学校支援地域本部事業の成果を継承するため教育振興運動の活性化を図ることを通して、地域の教育素材（人、もの、場所等）の活用を図りながら、家庭や地域との連携による指導支援体制の定着をさらに図ることができた。
- ウ 学習活動の中に、書くことや発表すること等の表現の場の位置づけを定着させることができ、表現力の向上がうかがえた。
- エ 地域の学習素材を活用することにより、発達段階に応じて、ふるさとへの愛着、自信、誇りを培うことができた。

(2) 問題点等

- ア 自ら考え、判断し、行動することを意識した指導法や支援体制の継承を図るとともに、体験を通して学んだことを表現する能力の一層の向上を図ること。
- イ 新規に開拓した地域素材を活かした総合的な学習の時間の学習内容について、年間指導計画の見直しも含めて、教材化に向けた熟成を図ること。
- ウ 定着してきた家庭や地域との連携について、教育振興運動を核としながら、安定した仕組みを定着させること。